

平成21年度 で どころ 「栗原市のお金の出所と使い道」

(栗原市予算概要)



(「がんばろう栗原！」 ~ 栗原中央大橋からみんなでエール ~)

つく 「市民が創る くらしたい栗原」



はじめに

市民のみなさま、こんにちは。市長の佐藤 勇です。

このたびは、4月の市長選挙において無投票により2期目を迎えることになりました。心から感謝の気持ちと無畏に重い責任を強く感じており、今後ともなお一層の努力を続けていく覚悟であります。



昨年は、6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震により市民生活に甚大な被害を受けました。震災直後から、この一年間、国や県の各機関をはじめとする多くの皆様のご支援・ご協力をいただき、復旧・復興に向けて全力を傾注し懸命に取り組んでまいりました。これからは、市民が一丸となって震災からの復興を目指すため、震災復興計画を策定し、「市民生活の再生」、「産業・経済の再建」、「防災のまちづくり」の3つの基本目標を掲げ、おおむね10年後には、震災以前の活力を回復し地域の価値を高め、被災地が新たな魅力と活力ある地域として生まれ変わり、安定的な発展を遂げるよう全力を挙げて取り組んでまいります。

また、2期目の初年度としてローカルマニフェスト実現のため、「安全安心のまちづくり」を進め、防災行政無線のデジタル化、消防施設の5署所体制の整備を図り、「学府くりはら」の推進では、幼保一元化や教育施設の耐震化を促進し、保健・医療・福祉施策では、市内小・中学生の入院費無料化や自殺の原因と言われる多重債務などを解決するため、「いのちを守る緊急総合対策」の充実を図り、地域の特性を活かした産業振興施策では、栗原ブランドの発信推進などを図ることとしております。

さて、「栗原市のお金の出所と使い道」は、予算の仕組みや事業内容を「わかりやすく」、「見やすく」を心がけて作成したものでありますが、お気づきの点があればご意見などを寄せていただきながら、復興元年にふさわしい地域の活力を盛り上げていきたいと考えております。市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成21年7月

栗原市長

佐藤 勇

～ 目 次 ～

はじめに

予算の概要と市政の基本的な目標	1
平成 21 年度栗原市各種会計 予算総括表	2
一般会計歳入・歳出の状況	3
事業別予算一覧	7
1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」	
(1) 豊かな自然環境と共生した生活を実現します	10
(2) 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します	11
(3) 安全・安心なまちづくりを推進します	13
2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」	
(1) 次代を担うたくましい子どもを育成します	14
(2) 人生を楽しむための実践機会を充実します	15
(3) 地域に根ざした文化の振興と歴史の継承を図ります	15
3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」	
(1) 子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います	16
(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります	18
(3) 高齢者が生きがいを持ち 互いに支え合うまちを目指します	20
4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」	
(1) 栗原ブランドの形成と高付加価値の地場産品づくりに取り組みます	21
(2) 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します	22
(3) 地域資源を活かした交流人口の増加を図り栗原市を発信します	23
5 「市民がまちづくりを楽しめるまち」	
(1) 小さなコミュニティを大切にされた地域づくりを推進します	24
(2) 市民が自ら行うまちづくり活動を支援します	24
(3) 市民満足度を重視した効率的な行政サービスを行います	24
6 「平成 20 年岩手・宮城内陸地震」からの復興を目指します	25
7 特別会計・事業会計予算の主な事業	27
市民一人当たりの予算	29
資料編	31

予算の概要と市政の基本的な目標

1. 予算を作るにあたって

栗原市の予算は、道路整備や福祉、教育など、市政全般を運営するために使う会計（さいふ）を「一般会計」とし、水道や下水道、国民健康保険などそれぞれ特定の目的のためにだけ使う会計を「特別会計」と区分けしています。

平成21年度の予算は市長選挙がありましたので、当初予算では新規の施策や政策的経費を極力抑え、義務的経費中心の予算編成となりました。そのため、市長選挙後の6月補正予算において、「栗原市総合計画」や「栗原市震災復興計画」に基づく、各種事業を盛り込むと同時に、「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」を加えて、「安全・安心なまちづくり」や「学府くりはら」、「いのちを守る緊急総合対策」、「栗原ブランド推進事業」などを、政策的経費として肉付けした内容となっております。

そのため昨年度までの資料では、前年度と当該年度の当初予算での比較となっておりますが、今回の資料では、前年度の当初予算と平成21年度の6月補正予算後の数字とを比較した資料となっております。

2. 予算の概要

このような中で、平成21年度6月補正予算後の一般会計の予算は、
437億6,904万円（対前年度11.1%、43億7,904万円増）
介護保険や下水道、病院などのそのほかの特別会計をすべてあわせると、
754億9,426万円（対前年度3.5%、25億4,111万円増）
市民ひとり当たり94万1千円になります。

（栗原市の平成17年国勢調査人口80,248人で算出）

また、予算をつくる上で基本となる大きな柱は、栗原市総合計画の基本目標である5つの分野と「栗原市震災復興計画を」合わせた6つの分野に分けて予算を組み立てました。

以下、分野ごとに具体的な予算の内容をご説明します。

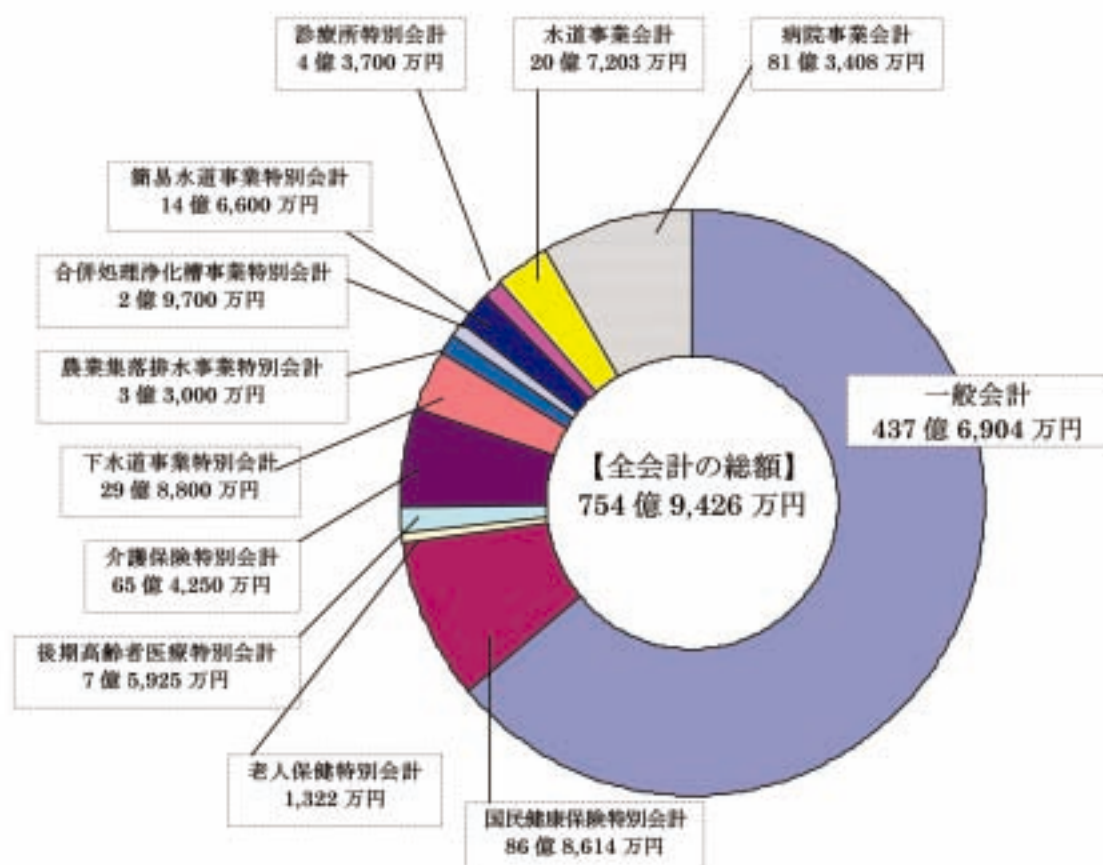
平成21年度栗原市各種会計 予算総括表

会計区分		平成21年度予算額	平成20年度予算額	比較	伸率(%)
一般会計		437億6,904万円	393億9,000万円	43億7,904万円	11.1
特別会計	国民健康保険特別会計(率率勘定)	86億8,614万円	87億8,674万円	△1億60万円	△1.1
	老人保健特別会計	1,322万円	8億6,741万円	△8億5,419万円	△98.5
	後期高齢者医療特別会計	7億5,925万円	9億8,931万円	△2億3,006万円	△23.3
	介護保険特別会計	65億4,250万円	60億4,200万円	5億50万円	8.3
	下水道事業特別会計	29億8,800万円	31億700万円	△1億1,900万円	△3.8
	農業集落排水事業特別会計	3億3,000万円	5億7,100万円	△2億4,100万円	△42.2
	合併処理浄化槽事業特別会計	2億9,700万円	2億8,200万円	1,500万円	5.3
	簡易水道事業特別会計	14億6,600万円	12億9,400万円	1億7,200万円	13.3
	診療所特別会計	4億3,700万円	4億1,900万円	1,800万円	4.3
事業会計	水道事業会計	20億7,203万円	21億4,569万円	△7,366万円	△3.4
	病院事業会計	81億3,408万円	90億5,900万円	△9億2,492万円	△10.2
合計		754億9,426万円	729億5,315万円	25億4,111万円	3.5

※水道事業会計、病院事業会計は収益的支出及び資本的支出額を記載しています。

※老人保健特別会計は、後期高齢者医療制度に移行したために予算規模が大幅に縮小されています。

※平成21年度予算額は、骨格予算のため6月補正後の予算額となっています。



◎一般会計歳入歳出の状況

歳 入

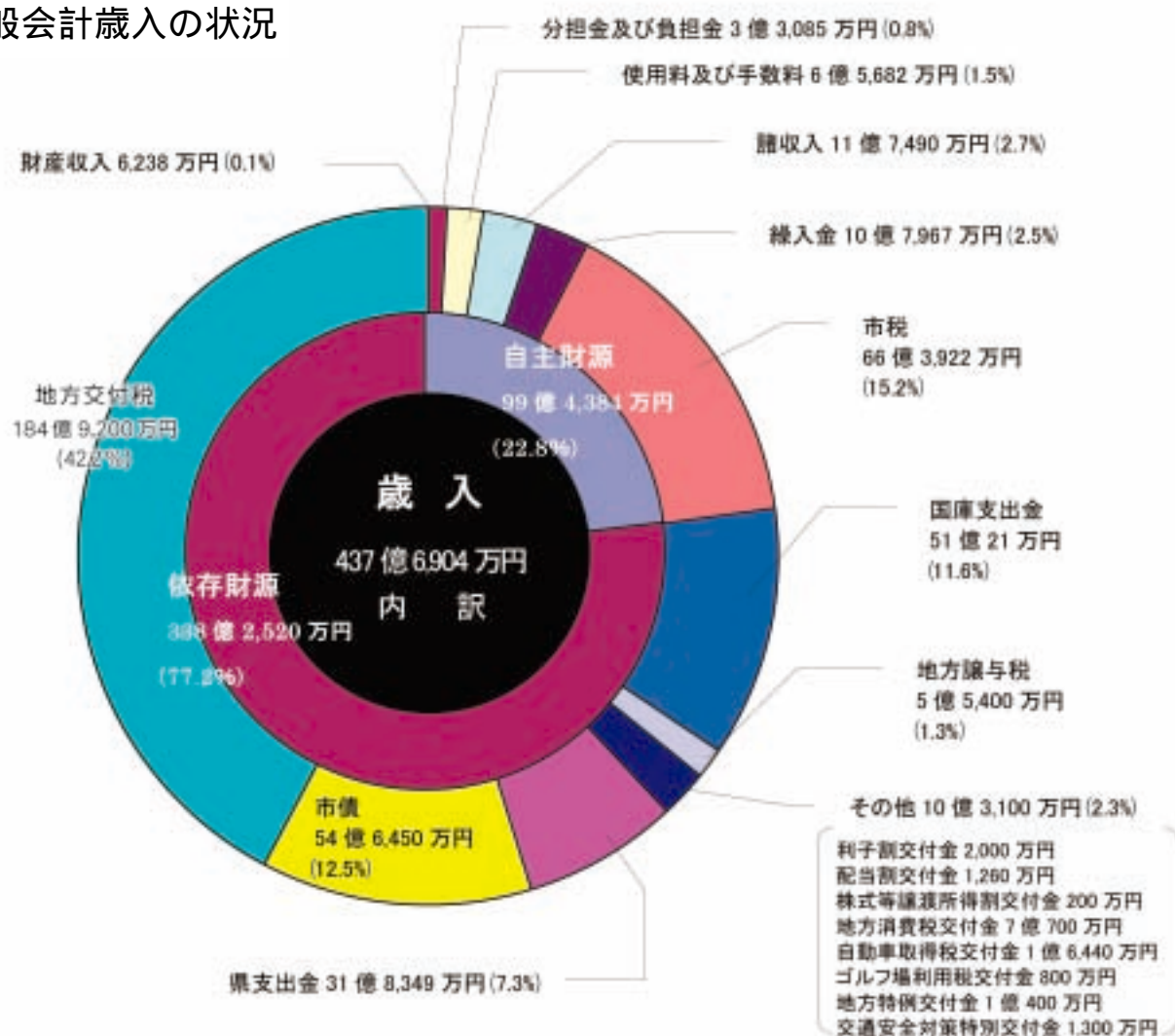
区 分	平成21年度予算(6月補正後)		平成20年度当初予算		比 較	
		構成比		構成比		増減率
市 税	66億3,922万円	15.2%	69億4,915万円	17.6%	△3億993万円	△4.5%
地 方 譲 与 税	5億5,400万円	1.3%	5億6,100万円	1.4%	△700万円	△1.2%
利 子 割 交 付 金	2,000万円	0.1%	2,000万円	0.1%		
配 当 割 交 付 金	1,260万円	0.0%	2,000万円	0.1%	△740万円	△37.0%
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	200万円	0.0%	900万円	0.0%	△700万円	△77.8%
地 方 消 費 税 交 付 金	7億700万円	1.6%	7億700万円	1.8%		
自 動 車 取 得 税 交 付 金	1億6,440万円	0.4%	2億3,370万円	0.6%	△6,930万円	△29.7%
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	800万円	0.0%	800万円	0.0%		
地 方 特 例 交 付 金	1億400万円	0.2%	6,000万円	0.2%	4,400万円	73.3%
地 方 交 付 税	184億9,200万円	42.2%	187億0,000万円	47.5%	△2億800万円	△1.1%
普通 交 付 税	173億9,200万円	39.7%	176億0,000万円	44.7%	△2億800万円	△1.2%
特 別 交 付 税	11億0,000万円	2.5%	11億0,000万円	2.8%		
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1,300万円	0.0%	1,300万円	0.0%		
分 担 金 及 び 負 担 金	3億3,085万円	0.8%	3億2,418万円	0.8%	667万円	2.1%
使 用 料 及 び 手 数 料	6億5,682万円	1.5%	6億8,097万円	1.7%	△2,415万円	△3.5%
国 庫 支 出 金	51億21万円	11.6%	18億5,259万円	4.7%	32億4,762万円	175.3%
県 支 出 金	31億8,349万円	7.3%	17億6,083万円	4.5%	14億2,266万円	80.8%
財 産 収 入	6,238万円	0.1%	6,793万円	0.2%	△555万円	△8.2%
繰 入 金	10億7,967万円	2.5%	22億5,866万円	5.7%	△11億7,899万円	△52.2%
諸 収 入	11億7,490万円	2.7%	12億2,029万円	3.1%	△4,539万円	△3.7%
市 債	54億6,450万円	12.5%	39億4,370万円	10.0%	15億2,080万円	38.6%
歳 入 合 計	437億6,904万円	100.0%	393億9,000万円	100.0%	43億7,904万円	11.1%

歳 出(性 質 別)

区 分	平成21年度予算(6月補正後)		平成20年度当初予算		比 較	
		構成比		構成比		増減率
人 件 費	90億2,509万円	20.6%	91億6,794万円	23.3%	△1億4,285万円	△1.6%
物 件 費	57億5,331万円	13.2%	49億2,491万円	12.5%	8億2,840万円	16.8%
維 持 補 修 費	2億9,700万円	0.7%	3億7,642万円	1.0%	△7,942万円	△21.1%
扶 助 費	31億103万円	7.1%	29億1,727万円	7.4%	1億8,376万円	6.3%
補 助 費 等	39億5,371万円	9.0%	34億984万円	8.7%	5億4,387万円	16.0%
普 通 建 設 事 業 費	90億1,270万円	20.6%	59億1,719万円	15.0%	30億9,551万円	52.3%
災 害 復 旧 事 業 費	16億8,814万円	3.9%	2,000万円	0.0%	16億6,814万円	8,340.7%
公 債 費	64億447万円	14.6%	69億4,721万円	17.6%	△5億4,274万円	△7.8%
積 立 金	1,329万円	0.0%	2,042万円	0.1%	△713万円	△34.9%
投 資 及 び 出 資 金	3億6,350万円	0.8%	6億7,734万円	1.7%	△3億1,384万円	△46.3%
貸 付 金	4億2,000万円	1.0%	13億7,000万円	3.5%	△9億5,000万円	△69.3%
繰 出 金	36億8,680万円	8.4%	35億9,146万円	9.1%	9,534万円	2.7%
予 備 費	5,000万円	0.1%	5,000万円	0.1%		
歳 出 合 計	437億6,904万円	100.0%	393億9,000万円	100.0%	43億7,904万円	11.1%

※平成21年度は、骨格予算のため6月補正予算後の予算金額となっています。

一般会計歳入の状況



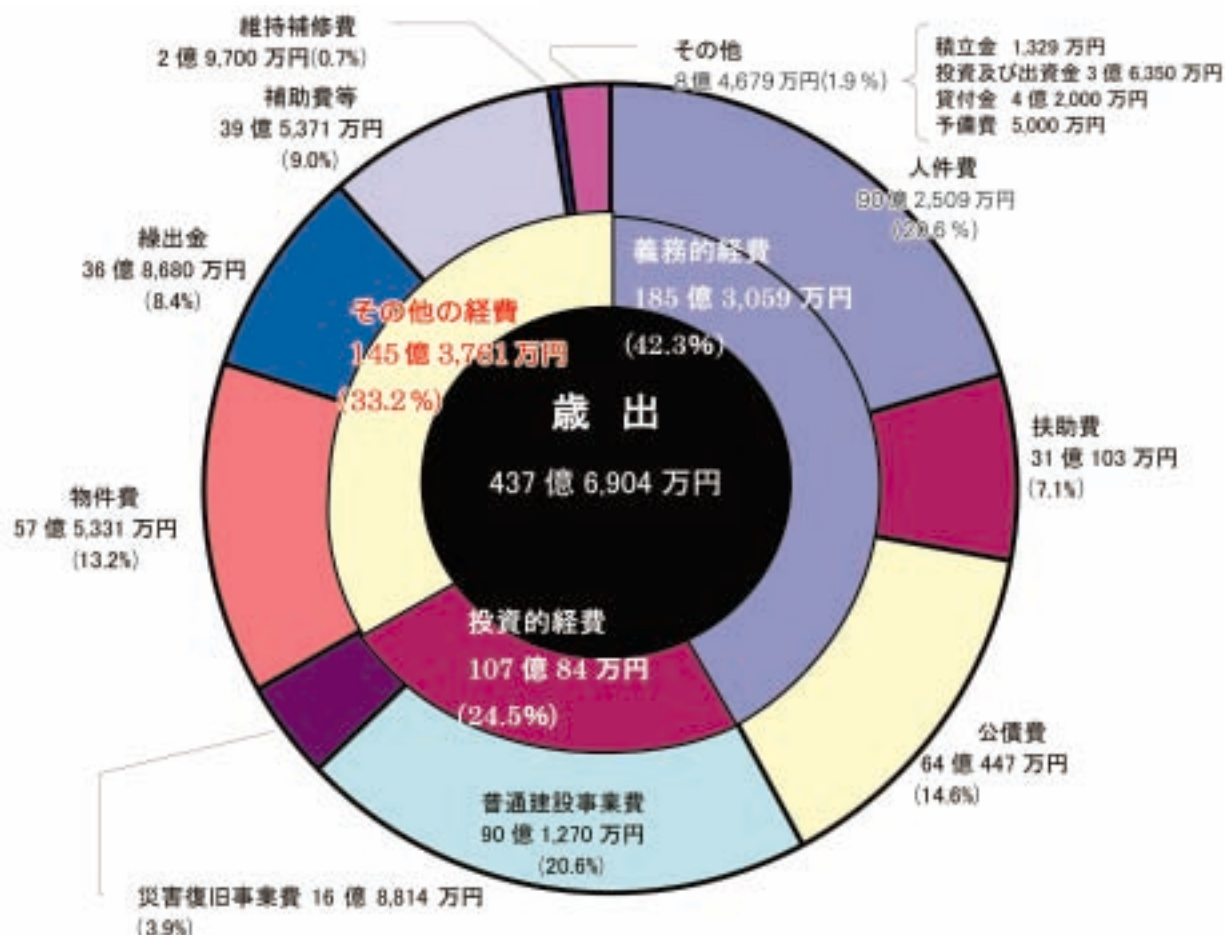
自主財源 (栗原市が自分の力で得られるお金です)

- 市 税**—市民税や固定資産税など、市で受け入れている税金
- 繰 入 金**—特別会計や各基金などから繰り入れるお金
- 雑 収 入**—他の収入科目に当てはまらない収入 (預金利子や貸付金元利収入など)
- 使用料 及 び 手 数 料**—公共施設を使用した時に支払う使用料や住民票を取得する時の手数料など
- 分 担 金 及 び 負 担 金**—市の事業により特に利益を受ける方から、その受益の範囲で負担していただくお金 (保育料など)
- 財 産 収 入**—市が所有する財産を貸し付けたり、売り払いしたことにより生じる収入

依存財源 (国や県の基準に基づいて得られるお金です)

- 地方交付税**—国が国税を一定の基準で地方に交付する税で、地方公共団体間の財源不均衡を調整するための交付金で、普通交付税、特別交付税があります
- 市 債**—公共施設の建設などの財源として市が借入れる長期の借入金
- 県 支 出 金**—県が特定の事務・事業に対して交付する負担金や補助金など
- そ の 他**—(地方特例交付金) (地方消費税交付金) (自動車取得税交付金) (利子割交付金) (配当割交付金) (株式等譲渡所得割交付金) (ゴルフ場利用税交付金) (交通安全対策特別交付金)
- 地方譲与税**—国の税金や県の税金を、各交付金として一定の基準により地方に交付されるお金
- 国庫支出金**—国が特定の事務・事業に対して交付する負担金や補助金など

一般会計歳出（性質別）の状況



義務的経費（義務付けられている支出の事を言います）

- 人 件 費—議員や職員等に支払われる給与などの経費
- 扶 助 費—社会保障制度の一端として、児童、高齢者、障害者、生活困窮者を援助するための経費
- 公 債 費—市が借り入れた地方債（借入金）の返済に要する経費

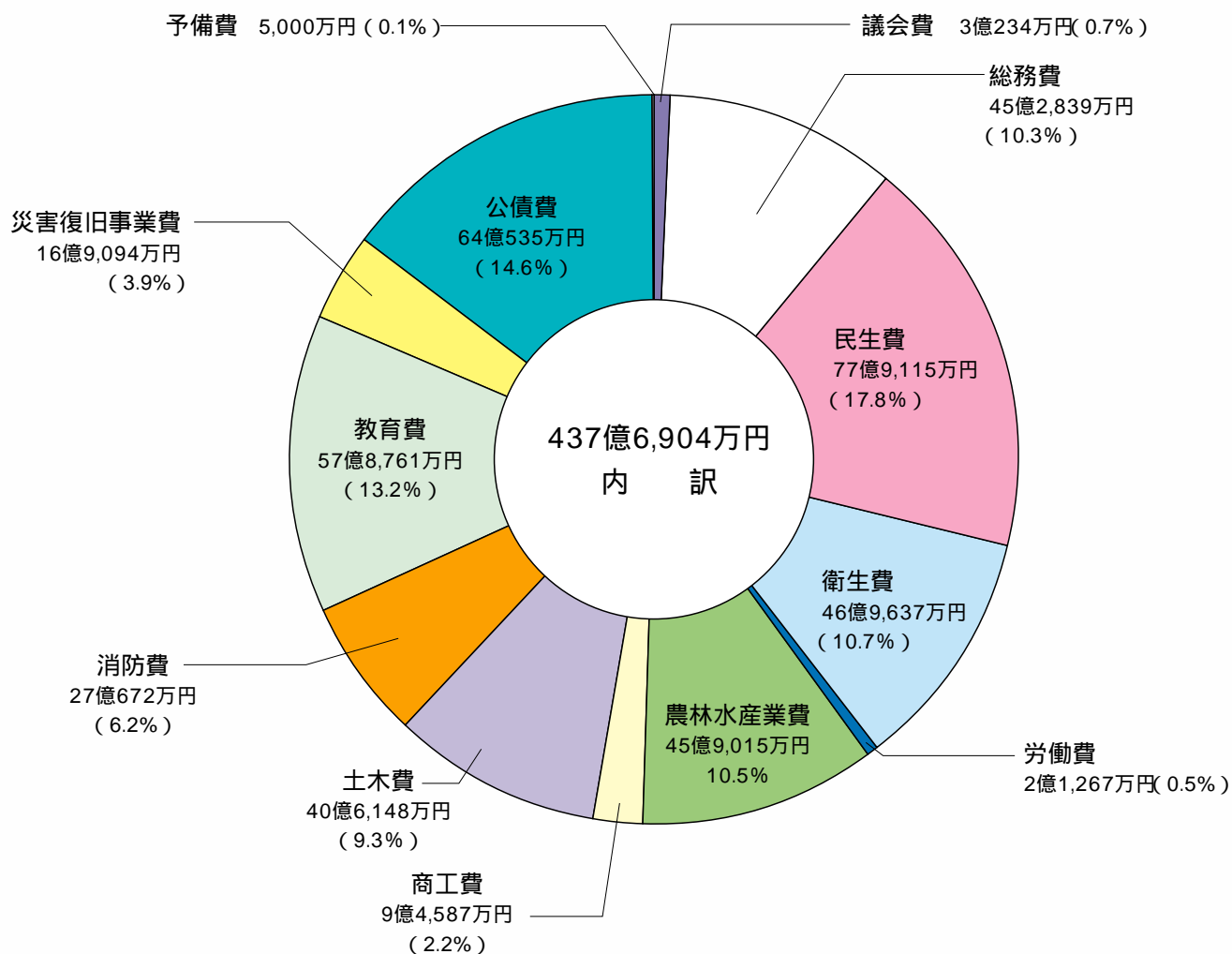
投資的経費（道路や学校など社会基盤の整備に充てる経費です）

- 普通建設事業費—生活基盤整備のための経費で、主に道路や橋、学校等公共用、公用施設の新増改築などに要する経費
- 災害復旧事業費—風水害や地震などの自然災害で被害を受けた公共施設などを復旧させるための経費

その他の経費（義務的経費、投資的経費以外の経費です）

- 物 件 費—委託料、賃金、旅費などの事務的経費
- 繰 出 金—他の特別会計への繰出などに要する経費
- 補 助 費—様々な団体への補助金、負担金、報償費、寄附金など
- 維 持 補 修 費—道路や公共施設などの効用を維持するための経費
- そ の 他—
 - （投資及び出資金）病院・水道事業会計などへの出資金など
 - （貸付金）公益上の目的を持って個人や団体に貸付ける経費
 - （積立金）特定の目的のために設けられた基金などに積立する経費
 - （予備費）不測の事態が起きた場合に備えての予算措置

一般会計歳出（目的別）の状況



議 会 費	費—議員の報酬や費用弁償、議会事務局のPersonnel費及び事務経費など議会に関するすべての経費
総 務 費	費—全般的な管理事務、企画調整事務、財政・財務管理に要する経費など、市の共通経費で、支所及び出張所の経費、税務に関する経費、戸籍及び住民基本台帳に関する経費、選挙に関する経費、統計調査に関する経費、監査委員に関する経費のほか、他の目的区分のいずれにも分別できない経費
民 生 費	費—市民の社会生活を保障するために必要な経費で、社会福祉、障害者、高齢者、児童福祉、生活保護及び災害救助関係の経費
衛 生 費	費—衛生的な生活環境を保つための経費で、伝染病予防費、結核予防費、火葬場費、ごみ処理費、し尿処理費などの経費
労 働 費	費—失業対策事業及び雇用の拡大などに要する経費
農 林 水 産 業 費	費—農業委員会や農林業の振興のために要する経費で、農業土木、農業構造改革、園芸振興、畜産振興、林業振興及び水産業振興などの経費
商 工 費	費—商工業の振興や観光事業などの経費
土 木 費	費—土木関係経費で、主に市道や橋りょうなどの整備や維持管理、住宅の建設や維持管理などの経費
消 防 費	費—災害防除、消防活動及び災害が生じた場合に被害を軽減する活動や消防施設整備などの経費
教 育 費	費—教育委員会、小・中学校、社会教育、文化財などすべての教育関係の経費
災 害 復 旧 費	費—災害によって生じた被害の復旧に要する経費
公 債 費	費—市が借り入れた長期・短期の借入金の返済に要する経費
予 備 費	費—不測の事態が起きた場合に備えての予算措置

一般会計・事業別予算一覧

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

区 分	事業名	事業費	ページ
(1)豊かな自然環境と共生した 生活を実現します	市庁舎太陽光発電システム導入事業	5,000 万円	10
	公用車更新事業	5,000 万円	
	エコ商店街推進事業	4,000 万円	
	ごみ処理事業	4億5,608 万円	
	くりはら畜苑管理事業	6,389 万円	
	し尿処理事業	3億4,992 万円	
	農地・水・環境保全向上対策事業	8,032 万円	
(2)多様な暮らしを満喫できる 生活環境を形成します	都市計画街路事業	1億1,412 万円	11
	まちづくり交付金事業	1億7,928 万円	
	道路橋りょう維持事業	2 億7,580 万円	
	道路整備事業	8億3,061 万円	12
	公営住宅整備事業	7億771 万円	
	新地域交通システム整備事業	2億2,638 万円	
(3)安全・安心なまちづくりを推進します	橋りょう耐震補強対策事業	1億300 万円	13
	木造住宅耐震改修等事業	1,524 万円	
	消防分署・出張所整備事業	1億9,885 万円	
	防災行政無線統合整備事業	8億 円	
	消防車両整備事業	1億5,500 万円	

2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」

区 分	事業名	事業費	ページ
(1)次代を担うたくましい子どもを育成します	語学指導を行う外国青年招致事業	4,656 万円	14
	幼保一元化施設整備事業	2億8,533 万円	
	中学校校舎等大規模改造事業	2億6,386 万円	
	小学校施設整備事業	4,472 万円	
	築館中学校校舎等建設事業	10億7,421 万円	
	若柳中学校校舎等建設事業	4,150 万円	
	学力向上のための緊急プロジェクト	2,688 万円	
	豊かな心を育む教育環境創造事業	230 万円	
	くりはら少年体験活動事業「どきどきキャンプ」	3 万円	
(2)人生を楽しむための実践機会を充実します	「心にきざむ 文化講演会」開催	238 万円	15
	総合運動公園改修事業	1,066 万円	
	石楠花センター整備事業	1,180 万円	
	公民館施設整備事業	1,880 万円	
	「目指せ！日本一」スポーツ振興事業	200 万円	
(3)地域に根ざした文化の振興と 歴史の継承を図ります	文化財保護事業	5,823 万円	

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

区 分	事業名	事業費	ページ	
(1)子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います	児童虐待防止対策事業	80 万円	16	
	放課後児童クラブ等運営事業	6,776 万円		
	地域子育て支援センター運営事業	3,042 万円		
	特定不妊治療費助成事業	50 万円		
	すこやか子育て支援金支給事業	2,500 万円		
		次世代育成支援行動計画策定	225 万円	17
		母子保健健康診査事業	7,421 万円	
		子ども入院費助成事業	1,000 万円	
頑張るくりはらっ子応援事業		5,213 万円		
(2)誰もが健康で安心して 暮らせる環境をつくります	いのちを守る緊急総合対策事業	1億226 万円	18	
	健康診査事業	1億9,616 万円		
	救急医療体制確保事業	2,000 万円		
	新型インフルエンザ対策事業	330 万円		
	予防接種事業	9,133 万円		
		訪問入浴サービス事業	216 万円	19
		相談支援事業	1,674 万円	
		成年後見制度利用支援事業	65 万円	
		自動車運転免許取得・改造助成	70 万円	
		日中一時支援事業	246 万円	
		日常生活用具給付等事業	1,471 万円	
		移動支援事業	524 万円	
		コミュニケーション支援事業	83 万円	
(3)高齢者が生きがいを持ち 互いに支え合うまちを目指します	高齢者福祉タクシー利用助成事業	216 万円	20	
	緊急通報体制等整備事業	326 万円		
	「食」の自立支援事業	499 万円		
	訪問理美容サービス事業	19 万円		
	軽度生活援助事業	1,080 万円		
	寝具乾燥サービス事業	33 万円		
	生きがい活動支援通所事業	2,923 万円		
	日常生活用具給付事業	73 万円		
	高齢者日常生活支援業務利用助成事業	100 万円		

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

区 分	事業名	事業費	ページ
(1)栗原ブランドの形成と高付加価値の 地場産品づくりに取り組みます	栗原ブランドの確立支援事業	281 万円	21
	ほ場整備事業	2億4,880 万円	
	園芸特産重点強化整備事業	3,339 万円	
	特別栽培米作付奨励事業	500 万円	
	担い手農業者支援事業	132 万円	
	優良子牛保留等対策事業	703 万円	

区 分	事業名	事業費	ページ
(2)産業育成と企業誘致により 産業拠点を形成します	企業立地促進奨励金	458 万円	22
	雇用促進奨励金	442 万円	
	雇用拡大奨励金	300 万円	
	誘致企業社員定住促進奨励金	1,400 万円	
	次世代技術戦略推進プロジェクト	45 万円	
	ものづくり企業活性化事業	520 万円	
	中小企業振興資金	3億4,000 万円	
	第2大林農工団地整備事業	2,502 万円	
	特定求職者緊急雇用奨励金	3,400 万円	
	鹿嶋芸術大学コ・モビリティ社会研究センターとの連携協力	2,321 万円	
(3)地域資源を活かした交流人口の 増加を図り栗原市を発信します	くりはら田園観光都市創造事業	934 万円	23
	第2回栗原市観光写真コンクール	19 万円	
	友好姉妹都市交流事業	56 万円	
	あきる野市友好親善交流事業	129 万円	

5 「市民がまちづくりを楽しめるまち」

区 分	事業名	事業費	ページ
(1)小さなコミュニティを大切に 地域づくりを推進します	地域集会所施設新築改築修繕事業	8,563 万円	24
	住民自治活動助成事業	6,184 万円	
(2)市民が自ら行うまちづくり活動を支援します	市民活動支援センター管理・運営事業	1,024 万円	
	男女共同参画推進事業	40 万円	
(3)市民満足度を重視した効率的な 行政サービスを行います	郵便局窓口交付サービス事業	92 万円	

6 「平成20年岩手・宮城内陸地震」からの復興を目指します

区 分	事業名	事業費	ページ
(1)水と緑、山の再生へ	被災者復興住宅整備事業	4,200 万円	25
	被災集会所施設復旧・耐震化等推進事業	2,098 万円	
	宅地背後地災害復旧助成事業	500 万円	
	ブロック塀等除却・生垣等設置助成事業	500 万円	
	復興・観光振興イベント開催事業	437 万円	
	道路・河川・橋りょう災害復旧事業	11億5,422 万円	
	農林業施設等災害復旧事業	1億1,683 万円	26
	観光施設災害復旧事業	3億1,897 万円	
	震災記録作成事業	1,435 万円	

特別会計・事業別予算一覧

区 分	事業名	事業費	ページ
国民健康保険特別会計	特定健康診査・特定保健指導事業	6,371 万円	27
介護保険特別会計	介護予防・特定高齢者施策予防事業	2,927 万円	
	脳卒中・認知症・寝たきり予防プロジェクト	650 万円	
	高額医療合算介護サービス事業	5,823 万円	
後期高齢者医療特別会計	高齢者医療制度	7億4,356 万円	28
水道事業会計・簡易水道事業特別会計	水道施設整備事業	2億6,830 万円	
下水道事業特別会計	公共下水道事業	6億9,750 万円	
農業集落排水事業特別会計	農業集落排水事業	3,290 万円	
合併処理浄化槽事業特別会計	戸別浄化槽設置事業（市町村設置型）	1億744 万円	
	浄化槽整備事業（個人設置型）	1,257 万円	
病院事業会計	栗原中央病院医療機器整備事業	2億1,000 万円	
	栗原中央病院院内保育所運営委託事業	3,266 万円	
	医学生修学一時金貸付事業	2,280 万円	

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(1) 豊かな自然環境と共生した生活を実現します

■=新規事業、■=拡充事業 (事業名の頭に表記)

■市庁舎太陽光発電システム導入事業 5,000万円

(担当：管財課財産係)

エコを目的とし、市庁舎にソーラーパネルを設置し、電力の一部をクリーンエネルギーでまかいます。

■エコ商店街推進事業 4,000万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

商店街の街路灯を長寿命で消費電力の少ない電球に交換することで、環境にやさしい商店街を推進します。

■公用車更新事業 5,000万円

(担当：管財課財産係)

老朽化した公用車を環境負荷の少ない低公害車に買い換えます。

■くりはら斎苑管理事業 6,389万円

斎苑やし尿処理施設の管理運営を行います。

財源	利用者の負担額	1,666万円
	市の負担額	4,723万円

■ごみ処理事業 4億5,608万円

(担当：環境課生活環境係)

家庭ごみの収集運搬とごみ処理施設の管理運営を行います。

財源	利用者の負担額	4,237万円
	市の負担額	4億1,371万円

■し尿処理事業 3億4,992万円

財源	利用者の負担額	1億7,491万円
	市の負担額	1億7,501万円

(担当：環境課生活環境係)

■農地・水・環境保全向上対策事業

8,032万円

(担当：農業政策推進室)

田や畑及び農業用水などの資源や農村環境の良好な保全とその質の向上を図るため、地域ぐるみで参加する共同活動や環境にやさしい農業に向けた営農活動に対して支援を行います。



花壇の植替えの様子



生き物調査の様子

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(2) 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します

 新規事業、 拡充事業 (事業名の頭に標記)

都市計画街路事業

1億1,412万円

(担当：都市計画課都市整備係)

円滑で安全な交通体系を確保し、市民生活のあらゆる面で親しまれる街路づくりを推進していきます。

(築館) 一迫南線、小山内沢線、源光町田線
(若柳・志波姫) 新山十文字線

財源 国・県の負担額 4,260万円
市の負担額 7,152万円
(うち市債〔借入金〕 4,310万円)



都市計画街路源光町田線

まちづくり交付金事業

若柳川北川南地区 1億7,928万円

(担当：都市計画課都市整備係)

地域の特性を活かした個性あふれるまちづくりを実現するため、道路や排水路整備を実施します。

事業 川北川南線道路整備
都市下水路整備

財源 国・県の負担額 2,520万円
市の負担額 1億5,408万円
(うち市債〔借入金〕 1億3,790万円)



川北川南線道路整備の様子

道路橋りょう維持事業

2億7,580万円

(担当：建設課維持係)

市道や側溝の小規模な補修をして、安心安全な道路環境を整備します。



市道の補修状況

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(2) 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

道路整備事業 8億3,061万円

(担当：建設課建設係)

財源 国・県の負担額 2億5,180万円
市の負担額 5億7,881万円
(うち市債【借入金】4億7,700万円)

○道路新設改良事業

市民の生活を支える基礎となる市道を整備し、安全で快適な道づくりを実施します。

《築館》 沢入留場線、間渡戸線、下中道線、成田線(仮称)(築館～一迫)、《若柳》 新田線(2期)、新町片町8号線、浜井場14号線、大林32号線、杉沢地区道路、三田鳥8号線、並柳地区排水路《栗駒》 広城線、下大鳥内ノ目線、四日町松木田線、高松松倉線、《高清水》 北神明線(2期)、善光寺来光沢線、上佐野線、上萩田線、《一迫》 清水目嶋林線、上要害線、鈴木堂の沢線、十日市線、清水小栗目線、《瀬峰》 学校線、下田跨線橋、《鶯沢》 辻前遠堀線、《金成》 桜町下沢辺線、有壁長根線、片馬合原線、大手線、《志波姫》 古戸線、《花山》 芦ノ口上原線、山下角間線、萩ノ原線、ミズパショウ公園線



市道新田線(2期)



市道芦ノ口上原線

公営住宅整備事業

7億771万円

(担当：建築住宅課建築係)

公営住宅の老朽化による建て替えや、改修事業を通して、安心して安全に暮らせる居住環境・生活環境の整備を目的に、地域と密着・連携した住宅(9棟30戸)の整備を行います。

また、雇用促進住宅等の買取・整備事業により、勤労者等の住宅(買取3棟100戸、整備5棟20戸)の確保を図ります。

財源 国・県の負担額 5億5,755万円
市の負担額 1億5,016万円
(うち市債【借入金】1億3,870万円)

新地域交通システム整備事業

2億2,638万円

(担当：市民協働課地域振興係)

交通の利便性向上を図るため、生活路線バスの運行委託や、既存公共交通の多様な運行形態の検討を行います。

また、料金については、分かりやすさや負担の軽減を図るため、均一運賃の導入など、料金体系の見直しを行います。

新規2路線を含む、全22路線で運行します。

財源 県の負担額 1,500万円
利用者の負担額 240万円
市の負担額 2億898万円

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(3) 安全・安心なまちづくりを推進します

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

橋りょう耐震補強対策事業

1億300万円

(担当：建設課建設係)

市が管理する道路に架かる橋を調査し、計画的に修繕する事により、橋の耐用年数を延ばすことができ、今後発生する修繕経費の削減を図ることを目的に市道橋の修繕計画策定をしています。計画に基づき危険度の高い市道橋から修繕を行います。



市道橋の一例

財源	国・県の負担額	5,340万円
	市の負担額	4,960万円
	(うち市債【借入金】)	3,000万円)

木造住宅耐震改修等事業

1,524万円

(担当：建築住宅課建築係)

宮城県沖地震等の大規模地震から市民の生命、財産を守るため、木造住宅の耐震改修助成、耐震診断、家具転倒防止器具取付事業を行います。

財源	国・県の負担額	756万円
	市の負担額	768万円

消防分署・出張所整備事業

1億9,885万円

(担当：消防本部総務課庶務係)

現在の7署所体制から5署所体制へ再編し、消防力の適正配置により効率的運用を図ります。平成21年度は、東分署(若柳)の用地造成、西出張所(一迫)の用地造成、庁舎建設等を行います。

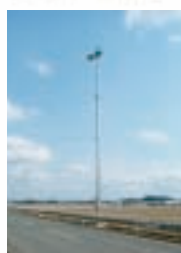
財源	国の負担額	2,400万円
	市の負担額	1億7,485万円
	(うち市債【借入金】)	1億6,600万円)

防災行政無線統合整備事業 8億円

(担当：危機管理室防災係)

アナログ方式で運用している4地区(築館・高清水・瀬峰・鶯沢)の同報系防災行政無線設備をデジタル方式に更新し、情報伝達体制の強化を図ります。

また、地区ごとに運用している移動系防災行政無線の周波数をデジタル波で統一し、市内全域の通信網を整備します。これで市内全域のデジタル化が完了します。



防災行政無線

財源	国の負担額	1億円
	市の負担額	7億円
	(うち市債【借入金】)	6億6,500万円)

消防車両整備事業

1億5,500万円

(担当：消防本部警防課警防係)

自然災害等の様々な災害に備え救助工作車を更新します。高度救助資機材・テロ対策用特殊救助資機材などを搭載し、機動性を持ち、あらゆる災害に対応します。




救助工作車(イメージ)

財源	国の負担額	1,958万円
	市の負担額	1億3,542万円
	(うち市債【借入金】)	1億2,860万円)

2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」

(1) 次代を担うたくましい子どもを育成します

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

語学指導を行う外国青年招致事業 4,656万円

(担当：学校教育課指導係)

外国語指導助手(ALT)を市内全中学校に1人ずつ配置(合計10人)し、中学校等で英語教育の推進や地域交流等を推進します。



外国語指導助手による授業の様子

学力向上のための緊急プロジェクト 2,688万円

(担当：学校教育課指導係)

市内小学校における独自の英語活動の導入や、宮城教育大学との連携事業として、留学生との交流を通じた生きた英語教育を実践します。また、英語以外では、学生の協力による長期休業中の自学自習の場「学府くりはら塾」の開講や、教師と大学間のホットラインの開設で授業指導の支援を行うなど、総合的な学力向上施策を行います。

豊かな心を育む教育環境創造事業 230万円

(担当：学校教育課指導係)

いじめ、不登校問題への対応として、児童生徒、親、それぞれ問題を抱える人々への専門相談体制を整備します。

財源	国・県の負担額	124万円
	市の負担額	106万円

幼保一元化施設整備事業 2億8,533万円

鶯沢地区、高清水地区の施設整備

小学校施設整備事業 4,472万円

瀬峰小学校校庭整備工事等

中学校校舎等大規模改造事業 2億6,386万円

金成中学校校舎耐震補強工事、一迫中学校体育館耐震補強実施設計等

財源	国・県の負担額	5,883万円
	市の負担額	2億 503万円
	(うち市債〔借入金〕)	1億5,700万円

築館中学校校舎等建設事業 10億7,421万円

校舎建設・設備工事等

財源	国・県の負担額	3億6,919万円
	市の負担額	7億 502万円
	(うち市債〔借入金〕)	6億2,950万円

若柳中学校校舎等建設事業 4,150万円

実施設計

(担当：教育総務課教育施設係)

くりはら少年体験活動事業 「どきどきキャンプ」 3万円 (担当：社会教育課生涯学習係)

市内の小学4年生から6年生を対象に、キャンプ生活の中で、多くの体験活動を通じて交流を図り、心豊かでたくましい子どもを育みます。

2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」

(2) 人生を楽しむための実践機会を充実します


 =新規事業、
  =拡充事業 (事業名の頭に標記)

「心にきざむ 文化講演会」開催
 238万円
 (担当：社会教育課文化振興係)


著名人を招き、身近で魅力のある内容をテーマとした、文化講演会を開催します。



～いつもチャレンジ精神で～
 熱く語る 草野 仁 氏
 (平成 20 年度実施の様子)

 **総合運動公園改修事業** 1,066万円
 (担当：社会教育課スポーツ振興係)

築館テニスコートの修繕を行います。

 **石楠花センター整備事業**
 1,180万円

石楠花センター(花山)の駐車場舗装と屋根塗装を行います。

 **公民館施設整備事業** 1,880万円

瀬峰公民館の外壁修繕を行います。

(担当：社会教育課生涯学習係)

「目指せ！日本一」スポーツ振興事業
 200万円

各種スポーツの全国大会などへの出場選手(団体)に参加費助成を行います。

「やったね！日本一」スポーツ振興事業
 100万円

全国大会で日本一など優秀な成績を残した各種スポーツ出場選手(団体)を表彰します。
 (担当：社会教育課スポーツ振興係)



全国大会3位 桂葉輝ララスポーツ少年団

(3) 地域に根ざした文化の振興と歴史の継承を図ります

文化財保護事業 5,823万円
 (担当：文化財保護課文化財係・埋蔵文化財係)

史跡山王団遺跡の整備、史跡伊治城跡公有化(土地買上)のほか、市内文化財の調査保護、地域の伝統芸能活動の支援を行います。

財源	国・県の負担額	3,830万円
	市の負担額	1,993万円
	(うち市債[借入金])	1,140万円)



伊治城跡発掘調査の様子

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(1) 子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います

新 = 新規事業、拡 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

児童虐待防止対策事業 80万円
 (担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

児童虐待に関する専門的なアドバイスをするスーパーバイザーの設置や地域で協議会を開催し、虐待についての相談等の対策を講じます。

新 **放課後児童クラブ等運営事業**
 6,776万円
 (担当：社会教育課生涯学習係)

共働き家庭などの、おおむね10歳未満の児童を預かり、放課後に適切な遊びや生活の場を与え、健全な育成を図るため、市内全地区で放課後児童クラブ等を実施しています。

財源	県の負担額	1,062万円
	利用者の負担額	1,872万円
	市の負担額	3,842万円



放課後児童クラブの様子

特定不妊治療費助成事業 50万円
 (担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

特定不妊治療を受ける方への費用の一部を助成します。

地域子育て支援センター運営事業
 3,042万円
 (担当：子育て支援課保育サービス係)

育児不安を抱える母親の相談や子育てサークル等の育成支援を行うセンターを、市内10地区で行い、地域全体で子育てしやすい社会づくりを目指します。

財源	県の負担額	2,160万円
	市の負担額	882万円



若柳川北保育所子育て支援センターの様子

すこやか子育て支援金支給事業
 2,500万円
 (担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

子育てを応援するため出生祝金、入学祝金を支給します。

- ・ 出産祝金 第1・2子 2万円
- 第3子 5万円
- 第4子 10万円
- 第5子以降 20万円
- ・ 入学祝金 第3子以降 10万円

財源	宝くじ助成金	2,000万円
	市の負担額	500万円

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(1) 子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)



金成萩野保育所お誕生会

子ども入院費助成事業 1,000万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

市内の小学生・中学生の入院に係る医療費の一部負担金を助成することにより、子育て家庭における経済的負担の軽減を図ります。

頑張るくりはらっ子応援事業

5,213万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

子育て応援特別手当の支給対象外であった、0～2歳児までの子を持つ子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、対象となる子、1人当たり3万円を商品券として助成します。

次世代育成支援行動計画策定

225万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、育成される環境整備を行うための計画を策定します。

母子保健健康診査事業

7,421万円

(担当：健康推進課保健指導係)

妊婦一般健康診査を従来の5回から14回に増やし助成を行います。

3歳児健診むし歯0本をめざし、1歳6か月から3歳児までに歯科検診とフッ素塗布を4回行います。

乳幼児健診は2か月から3歳児までお子さんの成長発達、育児の相談を医師、歯科医師、保健師、栄養士、歯科衛生士、保育士、心理相談員が行います。

財源	国の負担額	1,651万円
	市の負担額	5,770万円



妊婦一般健康診査の様子

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

🆕=新規事業、🟢=拡充事業 (事業名の頭に標記)

🟢いのちを守る緊急総合対策事業 1億226万円

(担当：社会福祉課・健康推進課)

栗原市では自殺率が高いことから、自殺防止キャンペーンや講演会などによる啓発事業を継続して実施します。また、自殺要因の25%を占める金銭問題の解決が急務であることから、多重債務専用の電話相談や弁護士相談、栗原市のぞみローンでの解決方法を含め自殺を防止するための各種事業を行います。



自殺防止講演会の様子

健康診査事業 1億9,616万円

(担当：健康推進課健康推進係)

市民の健康保持や病気の早期発見のため、各種健康診査・がん検診等により健康管理に対する支援を行います。

財源	県の負担額	222万円
	利用者の負担額	1,715万円
	後期高齢者医療広域連合の負担額	1,500万円
	市の負担額	1億6,179万円

🆕新型インフルエンザ対策事業

330万円

(担当：健康推進課保健指導係)

市では、今年2月に新型インフルエンザ対策行動計画を策定しております。

今回、国内発生した新型インフルエンザに対応して、市民にいち早く情報の提供や相談窓口を設置してまいりました。

今後は、秋以降の新型インフルエンザの流行に備えて、タミフルや防護服、マスクや消毒薬を確保して対策を強化してまいります。

救急医療体制確保事業 2,000万円

(担当：健康推進課健康推進係)

市民の急患に対する救急医療体制として、大崎市民病院救命救急センターでの診療を確保します。

予防接種事業 9,133万円

(担当：健康推進課健康推進係)

予防接種法の規定に基づき、伝染のおそれがある疾病の発生及び蔓延を予防するために予防接種事業を行います。

BCG、ポリオ、三種混合（ジフテリア、百日せき、破傷風）、麻しん及び風しん混合、高齢者インフルエンザ予防接種など

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

訪問入浴サービス事業 216万円
(担当：社会福祉課障害福祉係)

自宅での入浴が困難な身体障害者に対し、訪問入浴サービスを行います。

財源	国・県の負担額	162万円
	市の負担額	54万円

日中一時支援事業 246万円
(担当：社会福祉課障害福祉係)

障害者に日中活動の場を提供し、家族の就労支援や介護の負担を軽減するための支援を行います。

財源	国・県の負担額	184万円
	市の負担額	62万円

相談支援事業 1,674万円

障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供を行います。

成年後見制度利用支援事業 65万円

障害者にかわり、財産を管理したり、施設への入所に関する契約を結んだりできる成年後見制度の利用を支援します。

財源	国・県の負担額	48万円
	市の負担額	17万円

自動車運転免許取得・改造助成 70万円

障害者が自動車運転免許を取得したり、自動車を改造する費用の一部を助成します。

財源	国・県の負担額	53万円
	市の負担額	17万円

(担当：社会福祉課障害福祉係)

日常生活用具給付等事業 1,471万円
(担当：社会福祉課障害福祉係)

重度障害者等に対し、日常生活の便宜を図るため特殊寝台や紙おむつなど日常生活用具の給付、または貸与を行います。

財源	国・県の負担額	1,103万円
	市の負担額	368万円

移動支援事業 524万円

屋外での移動が困難な障害者に、外出する際の支援を行います。

財源	国・県の負担額	393万円
	市の負担額	131万円

コミュニケーション支援事業 83万円

意思疎通を図ることが困難な障害者に、手話通訳者等の派遣を行い意思疎通の支援を行います。

財源	国・県の負担額	62万円
	市の負担額	21万円

(担当：社会福祉課障害福祉係)

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(3) 高齢者が生きがいを持ち 互いに支え合うまちを目指します

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

高齢者福祉タクシー利用助成事業 216万円
(担当：社会福祉課高齢者生きがい係)

通院が困難な低所得の高齢者に対し、通院のためのタクシー利用の際の料金の一部を助成します。

緊急通報体制等整備事業 326万円
(担当：社会福祉課高齢者生きがい係)

自宅でのひとり暮らし高齢者等に対し、家庭用緊急通報システムの貸し付けを行います。

財源	利用者の負担額	108万円
	市の負担額	218万円

「食」の自立支援事業 499万円

自宅でのひとり暮らし高齢者等に対し、宅配による給食サービスを行います。

財源	利用者の負担額	200万円
	市の負担額	299万円

訪問理美容サービス事業 19万円

寝たきり等の高齢者に対し、訪問理美容サービスを行います。

軽度生活援助事業 1,080万円

自宅でのひとり暮らし高齢者等に対し、ホームヘルパーを派遣し、軽易な日常生活上の援助を行います。(家事援助)

財源	利用者の負担額	108万円
	市の負担額	972万円

(担当：社会福祉課高齢者生きがい係)

寝具乾燥サービス事業 33万円
(担当：社会福祉課高齢者生きがい係)

自宅でのひとり暮らし高齢者等に対し、布団等の洗濯・乾燥サービスを行います。

財源	利用者の負担額	12万円
	市の負担額	21万円


生きがい活動支援通所事業 2,923万円
(担当：社会福祉課高齢者生きがい係)

家に閉じこもりがちな高齢者に対し、通所によるサービス(ミニデイサービス)の提供を行います。

財源	利用者の負担額	600万円
	市の負担額	2,323万円

日常生活用具給付事業 73万円
(担当：社会福祉課高齢者生きがい係)

ひとり暮らし高齢者等に対し、電磁調理器等の日常生活用具を給付、または貸与を行います。

 **高齢者日常生活支援業務利用助成事業** 100万円
(担当：社会福祉課高齢者生きがい係)

ひとり暮らし高齢者等に対し、庭の清掃や除雪作業などの日常生活の支援に係る経費の一部を助成するため、日常生活支援業務助成券(シルバー人材センターが行う日常生活支援業務に限り使用できる)を交付します。(生活援助)

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(1) 栗原ブランドの形成と高付加価値の地場産品づくりに取り組みます

 = 新規事業、
  = 拡充事業 (事業名の頭に表記)

栗原ブランドの確立支援事業 281万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

栗原ブランド認定品の水準向上を支援し、販売促進・販路拡大を図るとともに、認定手続きを継続していきます。



第1期 栗原ブランド認定品

ほ場整備事業 2億4,880万円

(担当：農村整備課農地整備係)

経営体育成基盤整備事業など16地区で行います。

芋埦(築館・栗駒)、王沢(一迫)、大里(瀬峰)、尾松第1(栗駒)、尾松第2(栗駒・鶯沢)、川北(若柳・金成)、川北2期(若柳)、金生(若柳・金成)、杭ヶ浦(若柳・志波姫)、栗原(築館・栗駒)、栗原2期(築館・栗駒)、沢辺(金成)、城下(築館)、新田(若柳)、渡丸(栗駒)、上富(瀬峰)



築館芋埦地区ほ場整備実施前



築館芋埦地区ほ場整備実施後(一部)

財源 受益者の負担額 6,274万円
 市の負担額 1億8,606万円

園芸特産重点強化整備事業

3,339万円

(担当：畜産園芸課園芸振興係)

ハウス設置、生産機械導入などの事業に要する経費について、農業者団体及び生産組織に対し助成を行います。

財源 県の負担額 2,569万円
 市の負担額 770万円



平成20年度に整備されたパイプハウス

特別栽培米作付奨励事業 500万円

農薬や化学肥料を減らすなどの方法で栽培された米の作付け拡大普及を図るための生産・流通・販売に対する支援と助成を行います。

担い手農業者支援事業 132万円

担い手農業者を目指し、市内で農業を営もうとしている人への長期研修に対する支援で、県内研修では1ヶ月に3万円、県外研修では5万円の助成を行います。

(担当：農林振興課農政係)

優良子牛保留等対策事業 703万円

(担当：畜産園芸課畜産振興係)

仙台牛や若柳牛など栗原の銘柄確立を図るため、市内の畜産農家が生産した優良牛を保留及び導入した場合、助成を行います。

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(2) 産業育成と企業誘致により産業拠点を形成します

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)



市内企業への就職をお手伝いします。
就職希望高校生と市内企業の出会いの場
「くりはらジョブ・フェア2008秋」の様子

企業立地促進奨励金 458万円

市内に新設・移設・増設する企業に対し、投資規模に応じ固定資産税相当額を3年間助成します。

雇用促進奨励金 442万円

市内在住者を3人以上新たに常時雇用した市内企業に対しその雇用者数に応じ1人当たり10万円を助成します。

雇用拡大奨励金 300万円

市内在住の高等学校新規卒業者を新たに常時雇用し一定の要件を満たす市内企業に対し、新規高卒雇用数に応じ1人当たり5万円を助成します。

(担当：産業戦略課戦略推進係・商工振興係)

誘致企業社員定住促進奨励金

1,400万円

(担当：産業戦略課戦略推進係)

市内に工場等を新設・移設・増設し、必要な従業員を新規転入させ、市内に居住させた企業に対し、新規転入者である従業員の住居の移転に要した経費の一部を助成します。

中小企業振興資金 3億4,000万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

市内で操業する中小企業者に対し資金融資のあっせんや、保証料を助成します。

財源	貸付金元利収入	3億円
	市の負担額	4,000万円

次世代技術戦略推進プロジェクト

45万円

(担当：産業戦略課戦略推進係)

環境にやさしく、将来的に大きな伸びが期待できる太陽エネルギーの活用に向けて、基本計画・アクションプランを策定します。

第2大林農工団地整備事業 2,502万円

(担当：産業戦略課戦略推進係)

若柳地区の第2大林農工団地の実施設計を行い、企業立地の促進を図ります。

ものづくり企業活性化事業 520万円

(担当：産業戦略課企業支援係)

企業連絡協議会を中心として、新たに事業展開ができるよう、補助金を交付します。

特定求職者緊急雇用奨励金

3,400万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

雇用機会の減少、雇用調整等により、離職を余儀なくされた特定求職者を雇用した事業所に対し、緊急雇用奨励金として1人当たり20万円を助成します。

慶應義塾大学コ・モビリティ社会研究センターとの連携協力

2,321万円

(担当：企画課企画調整係)



緊急情報通信システムの映像(イメージ)

慶應義塾大学コ・モビリティ社会研究センターと連携協力し、鷺沢地区で行う自動運転システムの実証実験や緊急情報通信システムの導入、市の地域活性化に資する協働研究を行います。

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(3) 地域資源を活かした交流人口の増加を図り栗原市を発信します

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

くりはら田園観光都市創造事業

934万円

(担当：田園観光課観光企画係)

地域を活性化するために、地域資源を活用しながら、すべての産業が連携して実現する新しい観光産業づくりとして「くりはら田園観光都市」の創造を目指します。

観光まちづくり体制の検討、資源調査、くりはらツーリズム創出、くりはら観光塾、くりはら食ツーリズム研究会、地域づくりインターンなどの事業に取り組みます。



食の魅力とその活用を研究する
くりはら食ツーリズム研究会



「くりはら観光塾」では、様々な分野の専門家や実践者から講義を受けたり、関連するテーマで市内の資源を巡ったりします。

写真は、製粉の作業場の見学。



首都圏の大学生が、地方の暮らしを体験する地域づくりインターン事業。

市民と若者の交流から、地域の魅力を再発見します。

あきる野市友好姉妹都市交流事業

185万円

(担当：市民協働課地域振興係、社会教育課生涯学習係)

友好姉妹都市の東京都あきる野市と行政・産業・文化・教育など多岐分野にわたる交流事業を実施し、友好親善を深めるとともに、地域の活性化を推進します。

第2回栗原市観光写真コンクール

19万円

(担当：田園観光課観光振興係)


普段、見過ごしがちな地域資源の再発見と栗原の魅力を効果的に県内外にPRするために開催します。



第1回最優秀賞「伊豆沼春曉」

5 「市民がまちづくりを楽しめるまち」

(1) 小さなコミュニティを大切にした地域づくりを推進します

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

地域集会施設新築改築修繕事業

8,563万円

(担当：市民協働課市民協働係)

各地区の集会施設の新築、改築、修繕の経費に対し助成を行い、自治会運営の住民参加を促進します。

財源	市の負担額	8,563万円
	(うち市債【借入金】)	6,270万円



瀬峰泉谷コミュニティセンター
(平成20年度建設)

住民自治活動助成事業

6,184万円

(担当：市民協働課市民協働係)

各地区の自治会やコミュニティ推進協議会の創意工夫による自立的コミュニティ活動を支援するため、一括交付金を交付します。



コミュニティ推進協議会による夏祭りの様子

(2) 市民が自ら行うまちづくり活動を支援します

市民活動支援センター管理・運営事業

1,024万円

(担当：市民協働課市民協働係)

NPO(特定非営利活動団体)やボランティア団体など、市民活動を行う方々の活動拠点となる公共施設「市民活動支援センター」を管理・運営し、市民活動の活性化を促進します。

男女共同参画推進事業

40万円

(担当：市民協働課男女共同参画推進係)

リーダーの養成講座やセミナーを開催し、男女が互いに尊重し合い、個性と能力を十分発揮しながら、共に地域活動に参画できるよう推進します。

(3) 市民満足度を重視した効率的な行政サービスを行います

郵便局窓口交付サービス事業

92万円

(担当：市民課市民係)

最寄の総合支所から4km以上離れている地区にある、栗駒沼倉・栗駒文字・一迫金田の3郵便局で、各種証明書等の交付サービスを実施します。

6 「平成20年岩手・宮城内陸地震」からの復興を目指します

(1) 水と緑、山の再生へ

①=新規事業、②=拡充事業 (事業名の頭に標記)

①被災者復興住宅整備事業

4,200万円

(担当：建築住宅課建築係)

被災した住宅の自主再建が困難な方に対する市営住宅を整備し、生活の再建を支援します。

①被災集会施設復旧・耐震化等推進事業

2,098万円

(担当：市民協働課市民協働係)

昭和56年以前の旧耐震化基準で建てられた市内集会施設の耐震診断を実施します。

②宅地背後地災害復旧助成事業

500万円

(担当：建設課管理係)

被災した宅地背後地の応急復旧費用の一部を助成します。



公共施設の被害状況 (市役所庁舎)

①ブロック塀等除却・生垣等設置助成事業

500万円

(担当：建築住宅課建築係)

災害発生に備え、倒壊のおそれがあるブロック塀から命を守るとともに、緊急車両などの通行を確保するため、除去工事の費用を助成します。また除去後の生垣の設置費用を助成します。



がんばれ栗原復興祭の様子

②復興・観光振興イベント開催事業

437万円

(担当：田園観光課観光振興係)

震災復興に向けて、今年10月から12月にかけて展開する観光キャンペーン「仙台・宮城【伊達な旅】キャンペーン」に参画し、観光資源を宣伝・啓発します。



6 「平成20年岩手・宮城内陸地震」からの復興を目指します

(1) 水と緑、山の再生へ

 新規事業、 拡充事業 (事業名の頭に標記)

道路・河川・橋りょう災害復旧事業

11億5,422万円

(担当：建設課維持係)

災害にあった道路や河川、橋りょうの復旧を行います。
(市道馬場駒の湯線、市道荒砥沢線など)

農林業施設等災害復旧事業

1億2,088万円

(担当：農村整備課農地整備係
農林振興課林業振興係)

災害にあった林道施設・農業用施設の復旧を行います。



ハイルザーム栗駒アリーナ天井崩落の様子

観光施設災害復旧事業費

3億1,897万円

(担当：田園観光課観光振興係)

ハイルザーム栗駒・花山温泉温湯山荘の営業再開に向けて、施設の復旧を行います。

震災記録作成事業

1,435万円

(担当：市政情報課広報広聴係)

甚大な震災記録を後世に伝承し、自然災害に強いまちづくりや、被災体験、教訓を生かすために、記録誌及びDVDを作成します。





荒砥沢ダム上流の大崩落



6月13日に行われた炬ドルセレモニーの様子(花山地区)

7 特別会計・事業会計予算の主な事業


 新規事業、 拡充事業（事業名の頭に標記）

特定健康診査・特定保健指導事業
(国民健康保険特別会計) 6,371万円
(担当: 健康推進課医療給付係)

これまでの基本健康診査とともに、メタボリックシンドロームやその予備軍を発見し、生活習慣を改善させる保健指導を行います。



健康診査の様子

 **介護予防・特定高齢者施策予防事業**
(介護保険特別会計) 2,927万円
(担当: 介護福祉課認定調査係)

これまでの基本健康診査と併せて「介護予防のための生活機能に関する評価」を行い、機能向上を支援します。


また、元気な高齢者が、より健やかに自立した生活を送れるよう運動の普及と認知症に関する相談、研修会を開催します。



研修会の様子

脳卒中・認知症・寝たきり予防プロジェクト
(介護保険特別会計) 650万円
(担当: 介護福祉課認定調査係)

東北大学医学部の指導により、高齢者の方を対象にアンケート調査やMRI検査を実施し、認知症の「早期発見・予防・治療・介護」のための体系を構築していきます。

 **高額医療合算介護サービス事業**
(介護保険特別会計) 5,823万円
(担当: 介護福祉課介護保険係)

1年間の医療保険と介護保険の自己負担額の合計が高額となる場合に、助成金により世帯の負担を軽減します。

水道施設整備事業 2億6,830万円
(水道事業会計、簡易水道事業特別会計)
(担当: 水道課施設係)

水道水の安定供給や災害時の備えを目的として、古くなった水道本管やその他の水道施設を交換・修理する工事を行います。

また、市内の水道料金を平成20年5月請求分から統一しました。上がる場合は平成22年5月請求分から、下がる場合は平成20年5月請求分から段階的に調整していきます。

高齢者医療制度
(後期高齢者医療特別会計) 7億4,356万円
(担当: 健康推進課医療給付係)

長寿医療制度(後期高齢者医療制度)では、75歳以上の方に新しい保険証が1人に1枚交付されます。被保険者が負担する保険料は、医療費の一部に充てられます。窓口での負担は、今まで通り変わりません。

公共下水道事業 6億9,750万円
(下水道事業特別会計)
(担当: 下水道課施設整備係)

湖沼や水路など自然環境を守り、生活の快適性の向上を目的に、汚水を処理する管路や施設工事等の効率的な事業推進を行います。

主な工事箇所

(築館地区) 下宮野町通線下水道工事

(若柳地区) 元町9号線下水道工事

(栗駒地区) 愛宕下上野線下水道工事 (ほか)

7 特別会計・事業会計予算の主な事業


 新規事業、
  拡充事業 (事業名の頭に標記)

戸別浄化槽設置事業(市町村設置型)
 (合併処理浄化槽事業特別会計) 1億744万円
 (担当：下水道課施設整備係)

湖沼や水路などの水質保全を目的に、公共下水道事業、農業集落排水事業の計画が予定されていない区域に、市が設置工事、維持管理をする浄化槽の設置を行います。

浄化槽整備事業(個人設置型)
 (合併処理浄化槽事業特別会計) 1,257万円
 (担当：下水道課施設整備係)

湖沼や水路などの水質保全を目的に、公共下水道事業が計画されている区域内で、下水道が当分の間整備されない区域を対象に、浄化槽設置者に対し、設置に要する費用の一部を助成します。

 **栗原中央病院医療機器整備事業**
 (病院事業会計) 2億1,000万円
 (担当：医療管理課経営管理係)

栗原地域の医療体制の充実を図るため、栗原中央病院のCT更新及びMRIの増設を行います。

※事業費 2億1,000万円

財源 国庫補助金 2億1,000万

医学生修学一時金貸付事業
 (病院事業会計) 2,280万円
 (担当：医療管理課総務係)

栗原市立病院及び診療所への医師の招へいを図るため、宮城県内に居住する方の子弟で、将来、栗原市立病院及び診療所に医師として勤務しようとする医学生に対し、修学一時金を貸し付けます。

※貸付実績

平成17年度：2人 平成18年度：3人
 平成19年度：2人 平成20年度：3人

農業集落排水事業 3,290万円
 (農業集落排水事業特別会計)
 (担当：下水道課施設整備係)

農業用水や湖沼・水路などの水質保全と、生活の快適性の向上を目的に、汚水等の処理を行います。この事業は、集落のように家が集まり事業効果が明らかである地域に導入されます。

地区名 一迫高橋地区
 管渠総延長 L=7,202m
 対象戸数 114戸



一迫高橋地区農業集落排水処理施設

栗原中央病院院内保育所運営委託事業
 (病院事業会計) 3,266万円
 (担当：医療管理課経営管理係)

医師の招へい及び看護師の確保を図るために設置した院内保育所の運営を、保育所経営の実績のある事業者へ業務委託することにより、効率的かつ安全で充実した保育所運営を目指すとともに、子どもを安心して預けられる環境を整えます。

委託料 3,266万円(年間委託料)

開所 平成20年11月1日

通称 くりくり保育園



保育園の様子

市民1人当たりの予算

市の財政について、皆さんに身近な形で理解していただくため、市の予算を市民1人当たりの金額で表してみました。

市政運営の基本となる一般会計の平成21年度予算（6月補正予算後）437億6,904万円を、人口 80,248人（平成17年国勢調査人口）で割った金額です。

収 入	
市民税、固定資産税などの市税	8.3万円 15%
国や県からもらえる地方交付税や補助金など	35.3万円 65%
公共施設などを建てる際、複数年にわたって国や銀行などから借りているお金（市債）	6.8万円 13%
施設の使用料や手数料など	2.8万円 5%
基金（貯金）などから繰り入れるお金	1.3万円 2%
合 計	54.5万円 100%

収入のうち、自分たちの力で得た市税などの収入（自主財源）は、全体の22%程度です。国・県からの地方交付税や補助金等の依存している割合が78%を占め、施設整備等のため借り入れをして市政運営を行っています。

【1人当たりの貯金総額】9万円
 一般会計平成20年度末現在高見込
 74億6,457万円
 を市民1人当たりにした金額です

【1人当たりの借金総額】58万円
 一般会計平成20年度末現在高見込
 467億5,852万円
 を市民1人当たりにした金額です

支 出

職員の給料、手当などの人件費	11.2万円	21%
市債の返済費用（公債費）	8.0万円	15%
道路や施設の整備等、災害復旧費	13.7万円	25%
生活保護費、医療助成費などの扶助費	3.9万円	7%
電気、水道料、事務用品費	7.2万円	13%
下水道、病院、国民健康保険など他会計への繰出金	5.0万円	9%
各種団体への補助、火災保険料など	4.9万円	9%
中小企業向け融資やのぞみローンなど	0.5万円	1%
基金の積み立てなど	0.1万円	-
合 計	54.5万円	100%

支出は、人件費が21%、市債の返済が15%と義務的な経費の占める割合が大きくなりますが、年々減少傾向となっています。道路等の建設事業は、岩手・宮城内陸地震による災害復旧事業などで、対前年比で大きな伸びが見られます。

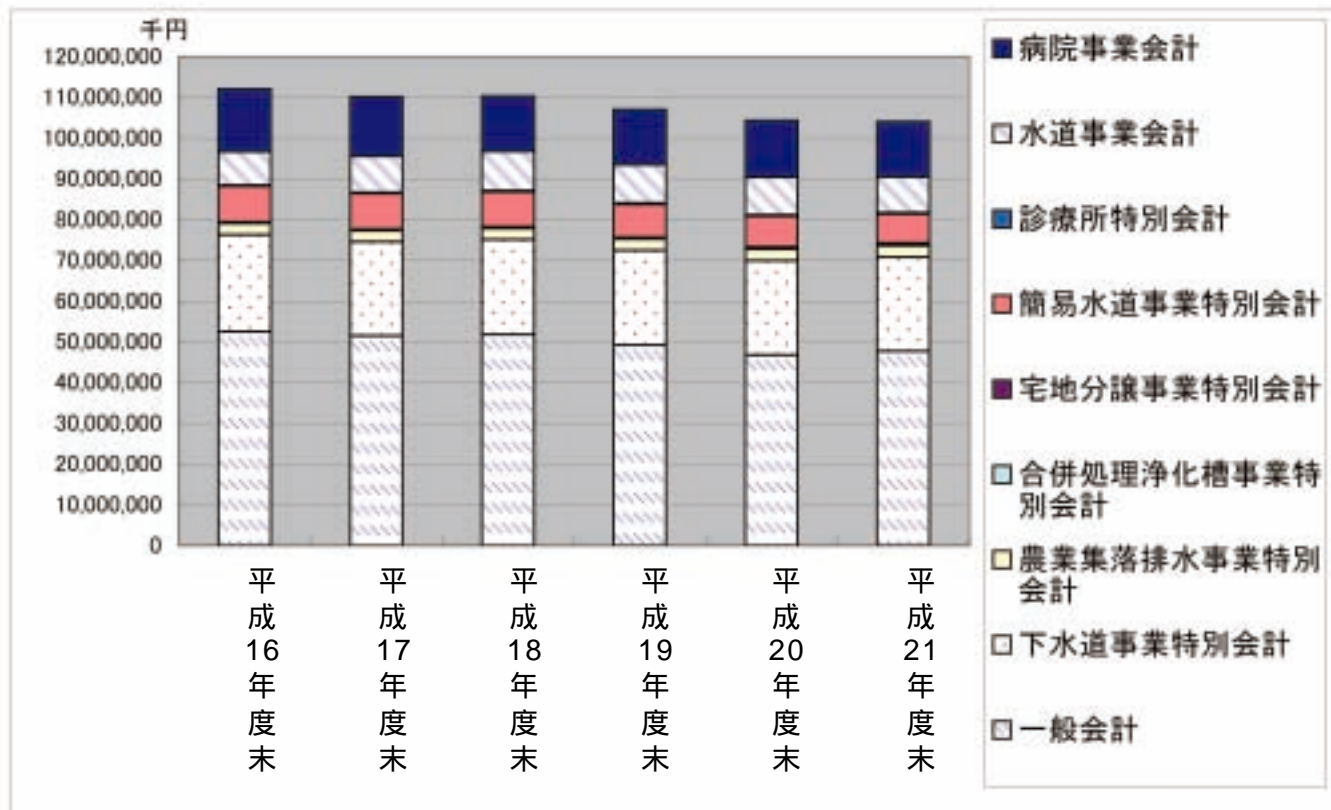
資料編

Q 市の借入額(市債)はどのように推移していますか？

市の借金残高は、合併前の平成17年3月末(平成16年度末)現在で全会計1,121億円でした。合併後は、新市建設計画に基づき、防災センターや栗原中央大橋、築館中学校など大規模事業を実施してきました。昨年は、岩手・宮城内陸地震により多額の災害復旧事業費を投入しましたが、5年間(平成21年度末)でおよそ80億円の減少となる見込みです。

借入額の中には、発行を避けられない「臨時財政対策債」60億円程が含まれており、これを除くと実質的な借入の減少額は140億円に上る見込みとなります。

今後も、新たに発行する借入のほとんどは、「過疎債」や「合併特例債」などの償還の一定割合を地方交付税に算入される有利ものを選択しながら事業の実施を行ってまいります。



(単位:千円)

	平成16年度末	平成17年度末	平成18年度末	平成19年度末	平成20年度末	平成21年度末	H16-21 増減
一般会計	52,495,270	51,454,607	51,793,469	49,179,569	46,798,522	47,718,479	△ 4,776,791
臨時財政対策債 を除く一般会計	45,081,687	42,495,595	41,560,964	37,936,606	34,725,104	34,242,513	△ 10,839,174
下水道事業特別会計	23,805,933	23,134,673	23,317,776	23,233,291	23,124,332	23,102,284	△ 703,649
農業集落排水事業特別会計	2,815,921	2,749,080	2,780,487	2,831,286	2,844,612	2,787,377	△ 28,544
合併処理浄化槽事業特別会計	263,419	307,683	358,785	430,523	557,483	671,011	407,592
宅地分譲事業特別会計	32,000	0	0	0	0	0	△ 32,000
簡易水道事業特別会計	8,822,741	8,794,382	8,533,170	8,034,749	7,509,873	7,132,478	△ 1,690,263
診療所特別会計	221,232	222,538	313,367	307,865	301,274	291,797	70,565
水道事業会計	8,213,313	8,944,459	9,657,597	9,455,815	9,282,814	8,794,258	580,945
病院事業会計	15,431,032	14,555,561	13,585,592	13,572,485	13,958,390	13,576,718	△ 1,854,314
合計	112,100,861	110,162,983	110,340,243	107,045,583	104,377,300	104,074,402	△ 8,026,459

※ 平成20年度末及び21年度末は、見込み額です。

資料編


◎問い合わせ先一覧表

議会	
議会事務局	22-1170
総務部	
総務課(市役所代表)	22-1122
人事課	22-1159
財政課	22-1115
管財課	22-1116
税務課	22-1121
危機管理室	22-1149
企画部	
企画課	22-1125
市政情報課	22-1126
行政管理課	22-1127
市民協働課	22-1164
市民生活部	
市民課	22-3211
環境課	22-3350
クリーンセンター	52-3080
くりはら園苑	22-4121
衛生センター	33-2301
福祉事務所	22-1340
社会福祉課	22-1340
はげまし学園	22-1623
介護福祉課	22-1350
子育て支援課	22-2360
健康推進課	22-0370
高清水診療所	58-2020
瀬峰診療所	38-3121
鶯沢診療所	55-3511
花山診療所	56-2013
文字診療所	47-2008
産業経済部	
農業政策推進室	22-2178
農林振興課	22-1135
畜産園芸課	22-1136
農村整備課	22-1138
田園観光課	22-1151
種畜マインパーク	55-3215
産業戦略課	22-1220
建設部	
建設課	22-1152
建築住宅課	22-1153
都市計画課	22-1154
上下水道部	
水道課	42-1130
下水道課	42-1133
会計課	22-1143
検査室	22-1160
医療局	
医療管理課	21-5631
栗原中央病院	21-5330
若柳病院	32-2335
栗駒病院	45-2211

消防本部	
総務課	22-1191
警防課	22-8510
予防課	22-1192
栗原消防署	22-8511
西分遣所	54-2120
若柳分署	32-2621
北分遣所	44-2319
栗駒分署	45-2109
鶯沢分署	55-3119
南出張所	59-2119
教育部	
教育総務課	42-3511
学校教育課	42-3512
教育環境推進室	42-3513
社会教育課	42-3514
文化財保護課	42-3515
栗原文化会館	23-1234
若柳総合文化センター	32-6600
図書館	21-1403
選挙管理委員会事務局	22-1122
監査委員事務局	42-1120
農業委員会事務局	22-1184
固定資産評価委員会	22-1122
築館総合支所	
築館総合支所(代表)	22-1111
市民サービス課	22-1111
産業建設課	22-1114
築館教育センター	23-1236
若柳総合支所	
若柳総合支所(代表)	32-2121
市民サービス課	32-2121
産業建設課	32-2124
若柳教育センター	32-3121
栗駒総合支所	
栗駒総合支所(代表)	45-2111
市民サービス課	45-2111
産業建設課	45-2114
栗駒教育センター	45-2225

高清水総合支所	
高清水総合支所(代表)	58-2111
市民サービス課	58-2111
産業建設課	58-2113
高清水教育センター	58-2353
一迫総合支所	
一迫総合支所(代表)	52-2111
市民サービス課	52-2111
産業建設課	52-2114
一迫教育センター	52-2115
瀬峰総合支所	
瀬峰総合支所(代表)	38-2111
市民サービス課	38-2111
産業建設課	38-2114
瀬峰教育センター	38-2171
鶯沢総合支所	
鶯沢総合支所(代表)	55-2111
市民サービス課	55-2111
産業建設課	55-2114
鶯沢教育センター	55-3141
細倉出張所	55-2035
金成総合支所	
金成総合支所(代表)	42-1111
市民サービス課	42-1111
産業建設課	42-1114
金成教育センター	42-1115
萩野支所	44-2001
志波姫総合支所	
志波姫総合支所(代表)	25-3111
市民サービス課	25-3111
産業建設課	25-3114
志波姫教育センター	25-3231
花山総合支所	
花山総合支所(代表)	56-2111
市民サービス課	56-2111
産業建設課	56-2114
花山教育センター	56-2331

※年の途中に事務所などの移動で、電話番号が変わる場合がありますが、その際には市の広報誌などで随時お知らせいたします。



ナブコシステム株式会社

『自動ドア』『ステンレスサッシ』のトップブランド

[設計・施工・販売・メンテナンス業務] 宮城・仙台支店 仙台市宮城野区新田東1丁目16-3 TEL: 022-783-8725
 ・大崎営業所 大崎市古川駅前大通5丁目2-45 TEL: 0229-21-9725
 *ステンレスサッシ製作工場/エヌ・エス・トート(株) 栗原市築館字新田20-2 TEL: 0228-23-1030

栗原市は自主財源確保のため、有料広告を掲載しています。

www.ebisu-gp.co.jp/manten.html

夜の
ご宴会

ご馳走ダイニング

満ちん

昼の
ご宴会

ご予約 **0228-22-0078** 営業時間 昼の部/午前11時～午後2時まで
夜の部/午後5時～深夜0時まで
栗原市築館薬師4丁目10-16 10名様以上、1時間以上のご予約で、お取り置きします。

「縁は「宴」から、満ちんスタイルのご宴会。」

ご予約、お日曜・人混みを、お気軽にご相談下さい。


COFFEE&CAKE・BAKERYHOUSE
PALETTE

石窯パン工房 & 欧風菓子

Boulangier Patisserie

PALETTE

本社/宮城県栗原市築館伊豆4丁目7-15
TEL 0228-22-8010 FAX 23-6097
有限会社パレット 代表取締役 高橋 寛
http://www.palette-b.co.jp

 **Lâ PALETTE**

Boulangerie・Pâtisserie
Lâ PALETTE 古川店/TEL 0229-24-8010

栗原の大地から
採れたての美味しさをお届けします。

7月30日オープン

人にやさしい
漢方牛肉
Kurikoma Kampo Herb Beef

株式会社 **ダイチ** 〒987-2233 宮城県栗原市築館照越永平1-1 (築館 ICそば)
TEL0228-22-3110 FAX0228-22-3301

くりはら直売所
よさこい
くりはら直売所

栗原市は自主財源確保のため、有料広告を掲載しています。

平成21年度
「栗原市のお金の出所と使い道」
(栗原市予算概要)

発行 宮城県栗原市 編集 栗原市総務部財政課 財政係
〒987-2293 宮城県栗原市築館薬師一丁目7番1号
TEL : 0228-22-1115
FAX : 0228-22-0312
E-mail : zaisei@kuriharacity.jp

この予算概要に関してお気づきの点がございましたら、気軽に財政課財政係までお寄せください。